

第13回「食品添加物メディアフォーラム」

# リスクと報道

—特に食品の安全をめぐる—



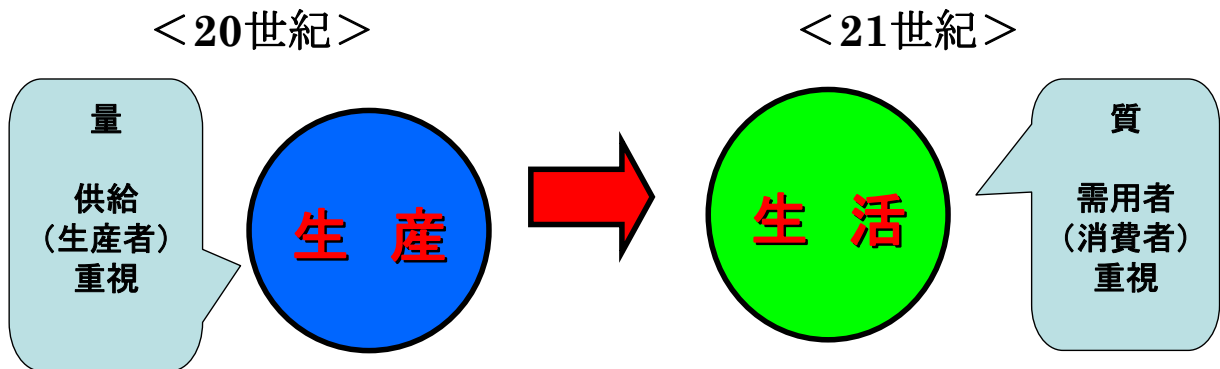
2010年2月8日

江戸川大学  
中村 雅美

## 内 容

- 前提として…報道人から見ての  
安全と安心
- メディアの役割
- リスクとは何か
- 私たちはリスクをどのように報道してきたか
- 食品・医療報道の事例
- 報道に望むこと

# 価値の重点は身の回りの「生活」に移っている

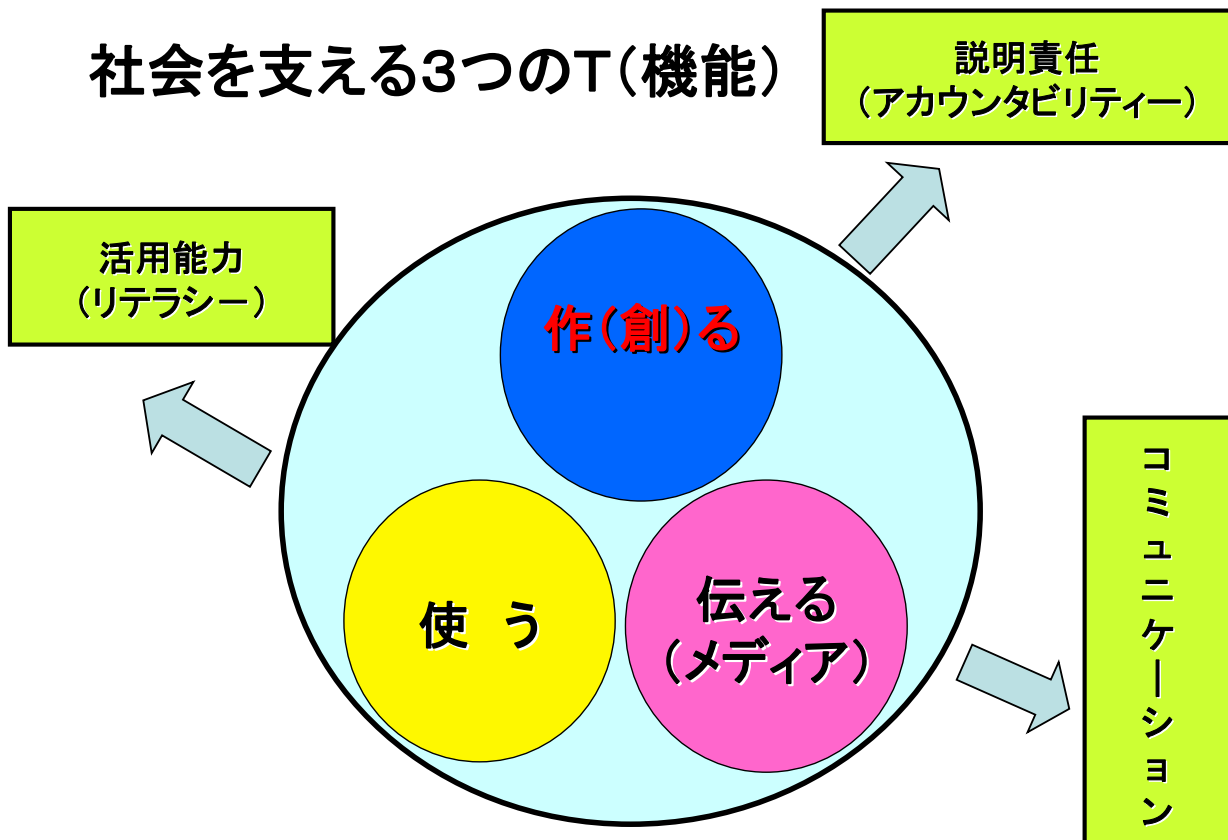


- 人々は3K(健康・環境・交流)に関心が高い
  - 「供給者」より「受容者・消費者」が重視される
  - 自己決定・自己責任が重視される
    - ← 「情報公開」が大切になる
- そのためメディアの役割が高まっている

食添協

3

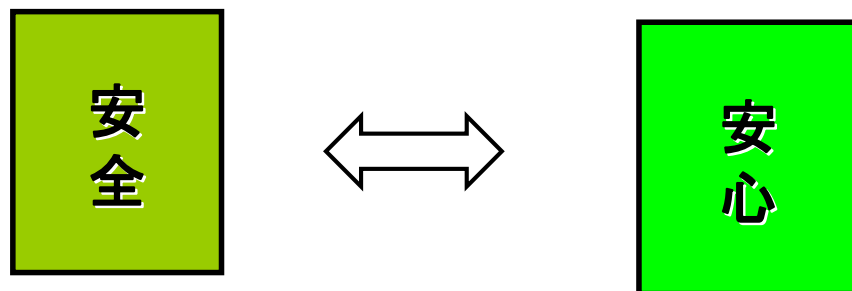
## 社会を支える3つのT(機能)



食添協

4

# 安全と安心



安全 → 科学的に安全とされていること・もの科学的評価(客観的)

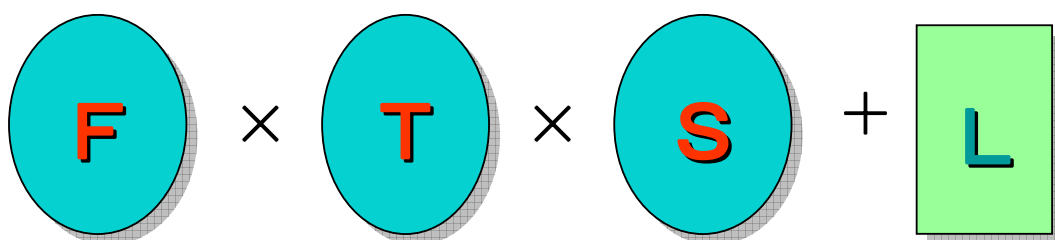
安心 → 消費者が安全と考えること・もの心理的(主観的)

安全と安心のギャップをどう埋めるか … 信頼と信用を高めること

食添協

5

## 情報伝達に必要な要件



- 事実 : Fact(F) … 事実に基づいて正確に伝える。事実に基づかないかないこと(デマ)は伝えてはならない
- 時機 : Timing(T) … 適時の報道。伝える時機を失わない
- 方法 : Software(S) … 伝えるための工夫  
表現や内容は適切か
- 理解力: Literacy(L) … 情報を理解できる、受け手の能力

食添協

6

# メディアの多様性

## ● メディアの種類

- \* 新聞（全国紙、ブロック紙、地方紙、産業総合紙、専門紙、コミュニティ紙、夕刊紙）  
発行形態には、日刊紙のほかに週刊紙、月刊紙などもある
- \* 雑誌（週刊誌、旬刊誌、月刊誌、季刊誌）
- \* ニュースレター、機関紙・誌、業界紙・誌、ミニコミ紙・誌
- \* 電波媒体（地上波TV、衛星放送、CATV、ラジオ）
- \* 電子メディア（インターネット、HP、ブログ、ツイッター？）

## ● メディアによって対象（にする人）が異なる

- \* 一般紙・誌 …… 不特定多数の人。一般市民。
- \* 産業総合紙・誌 …… 比較的特定（経済人、産業人）の人。
- \* 専門紙・誌 …… 特定の業界の人。
- \* 女性誌、政界誌など …… その他特定のグループ向け

食添協

7

# 報道の現状

- ① 深掘りした報道が少ない
- ② 情報がしばしば恣意的(一方的)になる
- ③ 一面的な報道が見られる  
記者の能力不足・取材不足 → 記者の不勉強  
取材先への思い入れが強い  
因果関係・黒白が明確 → 因果関係が複雑(善悪二元論では  
割り切れない事象が多くなってきている)
- ④ わかりやすくしようとするあまりしばしば正確さが犠牲になっている
- ⑤ 刺激的な表現になることがある → 報道のエンターテインメント化
- ⑥ 「リスク」(見えない危険)の伝達方法が未成熟
- ⑦ 集団での取材・競争的取材の弊害がある
- ⑧ 情緒的な報道が見られる
- ⑨ 発表中心の記事が多い？  
一方的な意見の紹介だけでなく、ニュースの多様性の確保
- ⑩ 特ダネ偏重になっている？  
→ 社内での紙面取り競争があり、大きな記事は要注意？
- ⑪ 他のメディアに対して閉鎖的な傾向がある  
記者クラブ制度は非加盟社、外国メディアから閉鎖的

食添協

8

## 新聞(報道)の課題

- 情緒的な報道がしばしば見られる  
情 報 から 「事」 報へ
- 長期的な視野に立つ記事が少ない
- 表現が過剰になりがち  
報道のエンタテインメント化(内容よりイメージ  
ショー化、専門家よりタレント重視、論点の戯画化)  
自分の記事を大きくしたい、特ダネは大きくなる  
誤報・虚報を生じるおそれ
- 人権とプライバシーへの配慮  
実名報道(匿名扱いの範囲、誘拐報道…)
- 他のメディアに対して閉鎖的な傾向がある  
記者クラブ制度

食添協

9

## メディア(新聞)が大きく扱うこと

- ・ 社会にとって重要な出来事
- ・ めずらしい(異常な)出来事
- ・ 初めてのこと(日本初…、世界初…)
- ・ 感情に訴えることから
- ・ タイムリーな(時宜にあった)出来事
- ・ 読者のためになる(読者が求めている)  
出来事

食添協

10

## 記者の悩み

- ・ いかにか易しく、わかりやすく伝えるか
- ・ いかにか読みやすさ(楽しさ)をだすか
- ・ 平易さと正確さのかねあい
- ・ 狭いスペース(60行×11字=660字)に  
5W1Hを入れなければならない
- ・ 科学・技術に対する理解不足をどう払拭するか
- ・ 反論への対応をどうするか
- ・ どういった立場をとるか  
(中立性、是々非々、告発…)
- ・ 記事にバイアスがかかっていないか

食添協

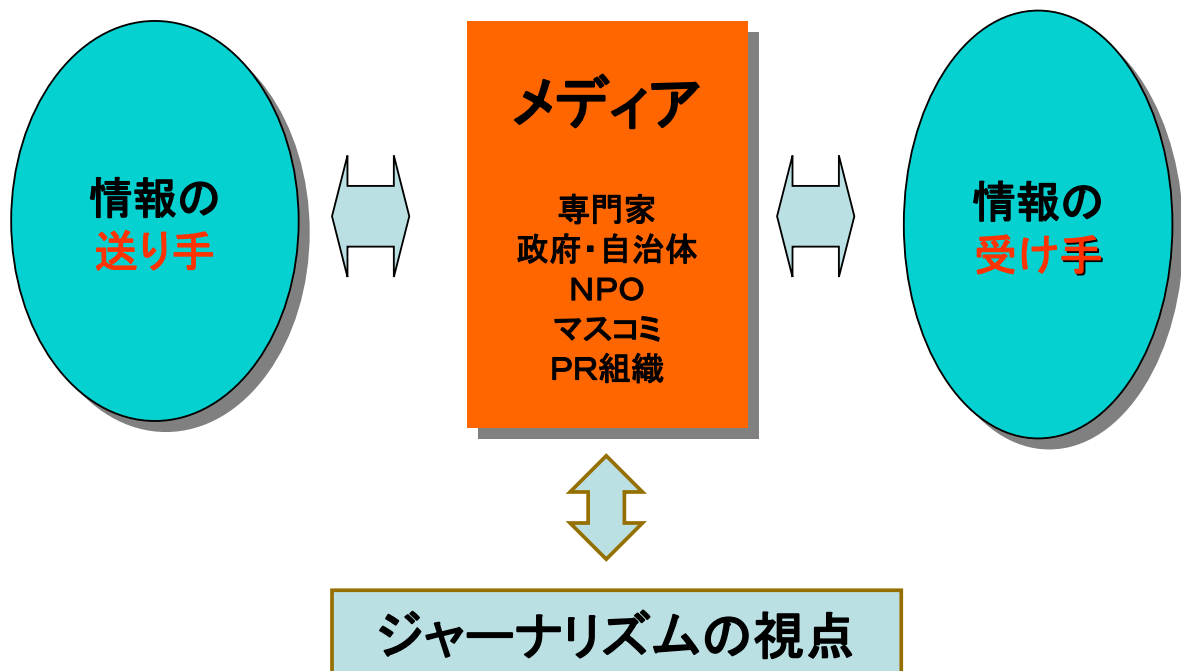
11

## 新聞は 限界産業か？

ニューズ・ウィーク誌(2006.3.15)



# メディアとはなんだろう？



食添協

13

## ジャーナリストの使命(1)

「社会の動き、生活に関する事象を伝え、解説、論評、批判をする」

- ニュース(記事)は迅速、正確、公平、平易に
- ・ 情報の交流の促進  
(情報の)発信源 ←→ (情報の)受信者
- ・ (専門家と非専門家の間にある)情報の非対称性の解消
- ・ 社会事象の発掘と背景の分析
- ・ 社会・市民の意識向上
- ・ 権力の監視

食添協

14

## ジャーナリストの使命(2)

記事は誰のために書いているかを

常に意識する

—誰に読んでもらう記事か(読者・視聴者は誰か)

- 「報道」(知らせる)か「報導」(啓発)か
  - 「リスク」と「ベネフィット」を正しく伝える
  - 「判断」するに十分な情報を伝える
    - 「自己決定」に必要な材料を提供する
    - (サイエンス)リテラシーの向上
- また、科学・技術の知識とともに洞察力も必要。  
単なる科学・技術の知識の貯蔵庫ではない  
(明確なオピニオン、方向性をもつ)

食添協

15

## ジャーナリストの使命(3)

- ・ ニュースと真実との区別
  - …裁判の結果は必ずしも真実を反映していない
- ・ ジャーナリストの社会的責任
  - ①自律的な報道・解説・評論
  - ②公正・公平な報道
  - ③「知る権利」の擁護
  - ④自浄能力を有する(高い倫理観)
  - ⑤チェック機能(批判精神)をもつ
  - ⑥事実に忠実である・事実に立脚している
  - ⑦予見能力(洞察力、想像力)をもつ
  - ⑧問題発見能力、問題設定能力をもつ

食添協

16



## ジャーナリストの使命(4)

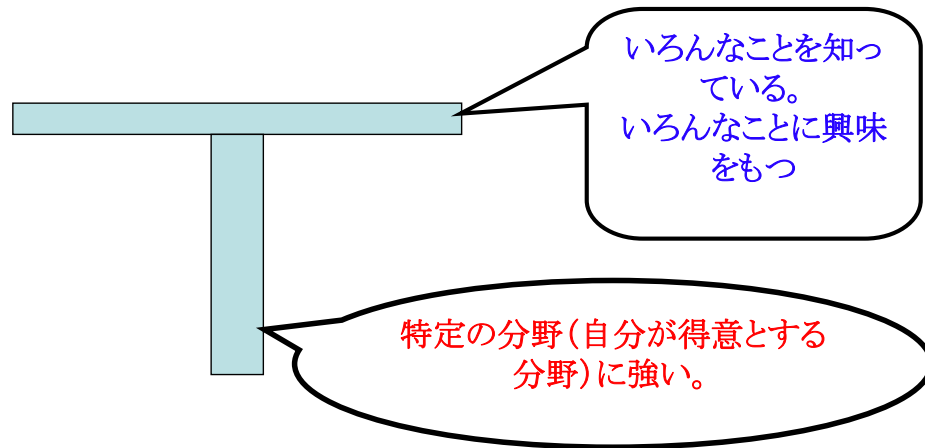
- ・ 専門家(科学者・技術者)との対話と彼ら(彼女ら)の社会的責任を追求する
  - ・ 説明責任・・・科学的な事実に基づいている
  - ・ リスク予測責任・・・科学的に知られていることと知られていないことを明確にし、その影響を推測する
  - ・ 予警(防)責任・・・科学・技術の結果を想像し、それを社会に知らせる

## ジャーナリストに求められる資質(1)

- ・ 意欲や好奇心が旺盛である
  - 野次馬根性、だぼはぜ的姿勢
- ・ 一定の正義感をもっている
  - 社会のため、という意識、健全な反骨精神・批判精神
- ・ 社会常識をもっている
- ・ ある程度の専門知識をもっている
- ・ バランス感覚や理解力をもっている
- ・ 持続力(あきらめない)や適応力(たくましさ)をもっている

## ジャーナリストに求められる資質(2)

- 「T」字型人間
- 「Something of Anything, Anything of Something」



食添協

19

## メディア批判

- ・ 記事(ニュースの内容)がセンセーショナルである
- ・ 取材(報道)が集中豪雨的である
- ・ 内容がバランスを欠いている
- ・ 内容が不正確である
- ・ 「犯人捜し」に偏っている
  - ・・・警察的発想？
- ・ 報道や取材は熱しやすく冷めやすい

食添協

20

2007年4月



食添協

## メディアの課題

- 「絶対安全」(ゼロ・リスク)の呪縛から脱するには
- リスクを定量的にとらえる感覚をいかに作りあげるか
- 「安全＝安心」ではない難しさ
- メディアにも自覚が必要
  - ・「白」か「黒」か、二者択一が好きなメディアの性癖
  - ・社会に与える影響に対して自覚が必要
- 科学者、技術者の役割を検証する
- 背景に国民のリスク感覚のひずみがある？

食添協

## 「リスク」と聞いて思い浮かべること(1)

- ・ 食品、BSE、医薬品、たばこ
- ・ 火災事故、交通事故、事故に遭う確率  
    原子力発電、地震、風水害
- ・ 化学物質、農薬、放射線、ナノ粒子、風評被害
- ・ 株、保険
- ・ IT化、情報流出、セキュリティー
- ・ 会社の業績に影響を与えるもの  
    …知財、社員の不祥事  
        海外への技術移転など  
        会社の危機管理、会社の倒産

## 「リスク」と聞いて思い浮かべること(2)

- ・ 「危機が起こりうる可能性」や  
    「情報の不確かさをはかり得ないままのデータ」
- ・ 「医薬品の副作用」や「医療事故」、「健康リスク」、  
    「食品」、「化学物質」、「災害」など
- ・ 外面には現れず内命に存在する危険性
- ・ 科学的・合理的な情報の報道
- ・ リスク=危険(ハザード)ではない  
    メディアはリスク=ハザードとして報道している  
    → 風評被害の原因？

## 「リスク」と聞いて思い浮かべること(3)

- ・ 「考えたくないこと」が「起きてはいけないこと」とのすり替えがある
- ・ 風評被害、「損」、余計な手間
- ・ 新しいことを始めるときにメリットとともにリスク(失敗の可能性)を考える
- ・ リスクコミュニケーション
- ・ 自分ではコントロールできない危険性、損失・・・かけやばくち、確率の問題

## 「リスク」と聞いて思い浮かべること(4)

- ・ リスク＝危険(性)、危機
  - ・ 冷静に考えると人生の分岐点での選択肢を考えるとリスクの視点は重要
  - ・ ある人にとってはメリットとなることも違う立場の人にとってはデメリットになる
- ・ 危険、失敗、怖いなどのマイナスのイメージ
- ・ リスクマネジメント
- ・ リスク＝ハザード×発生頻度
- ・ 大切なことは情報を多角的にみて自分の価値観に立ってリスクを計算(評価)する

## 「リスク」と聞いて思い浮かべること(5)

- ・ 事実が誤って報道されること  
    マスコミ(マスメディア)とのコミュニケーションのずれ  
    メディアに対する企業側の対応姿勢
- ・ リスクマネジメント
- ・ リスクは潜在的であり、顕在化されていないもの
- ・ そのリスクは誰にとってのリスクであるか？

## リスクとは何だろう？(1)

- ・ リスク(RISK) = 将来起きるかもしれない(必ず起きるとは限らない)損失や危害の可能性
- ・ 日本にはなかった概念  
    ・・・危険(Danger)とは異なる。  
    相場用語としてあった  
    =「ハイリスク、ハイリターン」

あえて言うならば「**やばい!**」が近い

## リスクとは何だろうか？(2)

### リスクの定義(ISO)

「危害が発生する確率と  
危険の重大さの組み合わせ」

まだ、ゼロリスク志向が強い？

$$R(\text{リスク}) = H(\text{ハザード}) \times C(\text{チャンス})$$

リスク=危険(ハザード)ではない  
メディアはリスク=ハザードとして報道している  
→ 風評被害の原因？

食添協

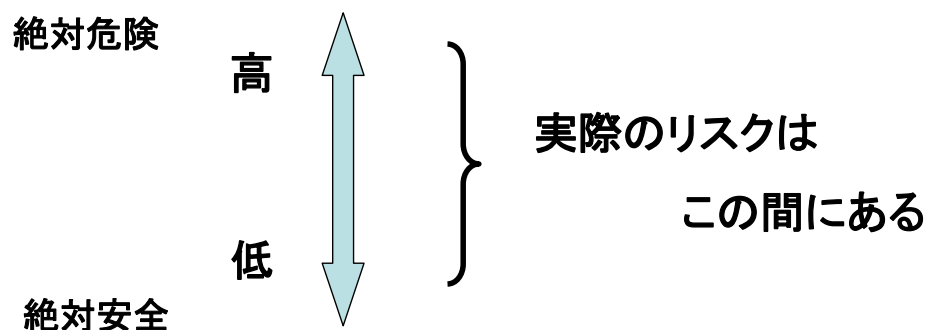
29

## リスクに対する考え方

### □ リスクはあるものとの意識が重要

「人は誰でも間違える」という考え

「クスリ(薬)」 → 「リスク」



食添協

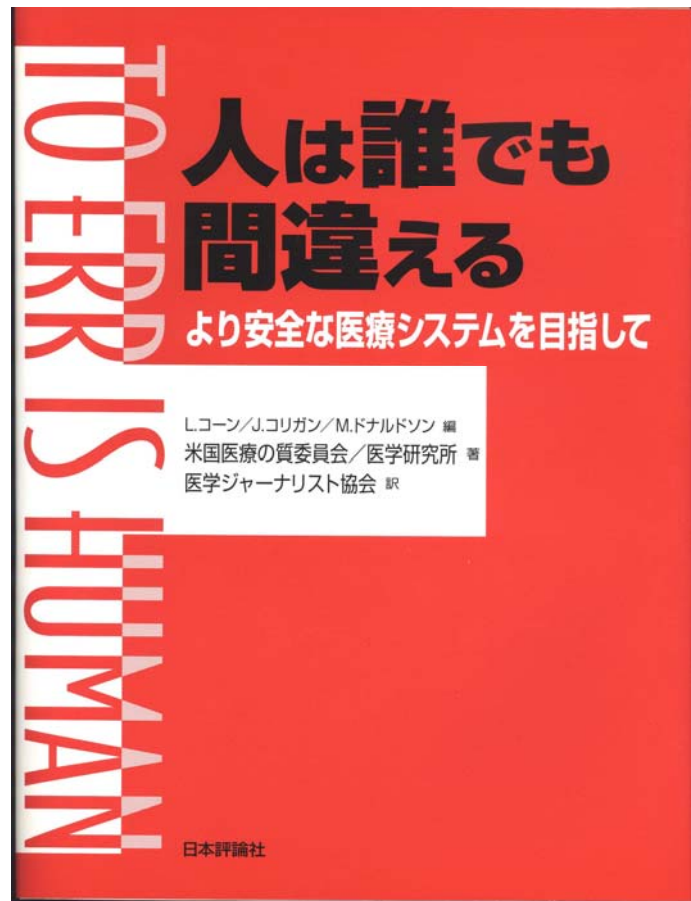
30

「人は誰でも間違える」

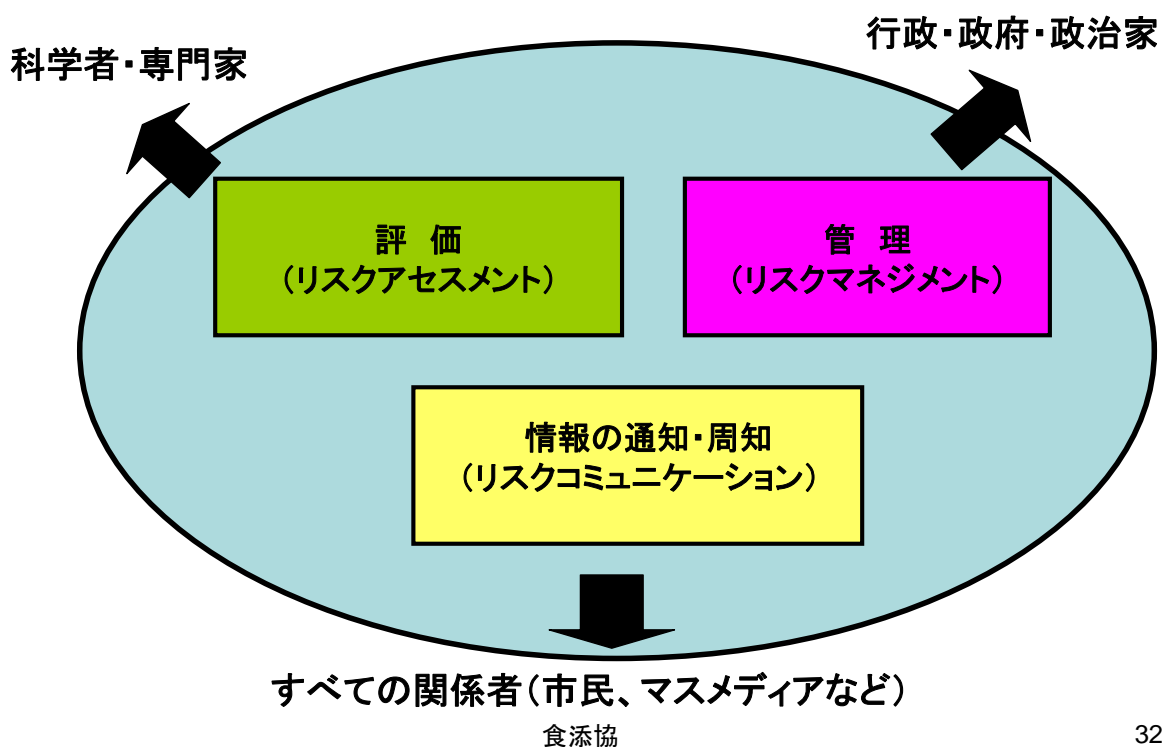
(2000年11月)

医療システムの例

このことを前提にシステムをつくるのが大切



## リスク分析を構成する要素





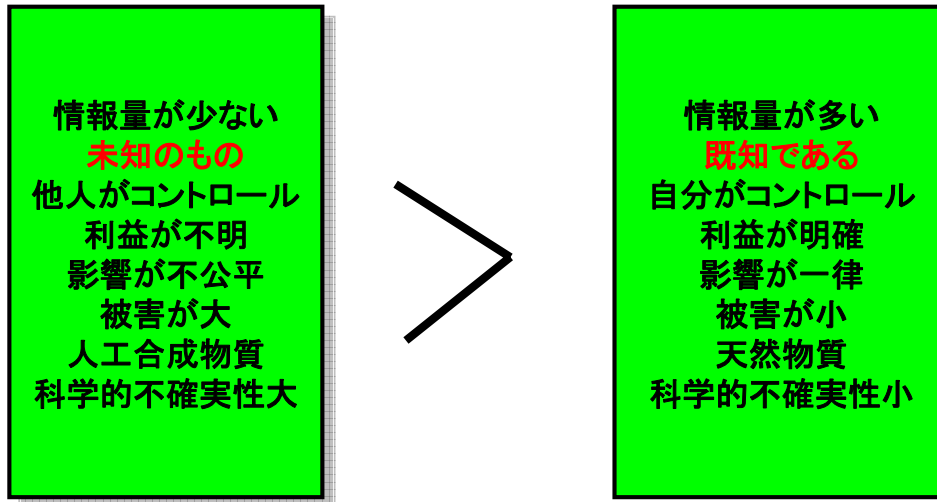
# リスクと考えるもの

- ①**自然災害** 地震、台風、火山災害、洪水、雪害など
- ②**生活・健康・環境**  
病気、医療、食品添加物、医薬品、子供・親の健康、高齢化問題  
社会保障問題、人間関係、生活・産業廃棄物、化学物質、食品衛生  
遺伝子組み換え食品、感染症、バイオハザードなど
- ③**人工システム** 原子力施設・ライフラインの事故、交通機関の事故、火災、都市災害  
気候変動、コンピューター・ネットワーク犯罪など
- ④**社会・経済システム** 戦争、食糧・資源不足、エネルギー不足、人口問題  
地球環境問題など
- ⑤**経済・政治問題**  
金融不安、経済不況、投資・投機リスク、リストラ・失業など
- ⑥**その他** 犯罪、プライバシー、テロリズム、ストーカー、迷惑行為など

## リスク・恐れを感じる事柄

- ◆実際に被害(環境汚染など)にあった
- ◆被害(影響)が元に戻らない可能性がある
- ◆子孫に影響が及ぶ可能性がある
- ◆自分では避けられない
- ◆不明・不確実な要素が多い
- ◆情報が不足しているか、隠されている
- ◆代替法・代替物質が使われていない
- ◆利用者に直接的な利益がない

## 認知されたリスクと実際のリスク



食添協

35

## 予警原則 (Precautionary Principle)

「危害因子と危険の因果関係が**科学的に証明されていない**も、放置すると重大なあるいは取り返しのつかない被害をもたらされる可能性があるとき、**暫定的に**対費用効果が最も優れていると思われる方法をとること」

(例) 遺伝子組み換え食品、一部の化学物質にあてはまる？

「ぬれぎぬ」の可能性あり。

無実だったら誰が責任をもつか

(風評被害などの経済的な損失の補償)

食添協

36

\* タミフル服用後の異常  
行動による年間死亡者数  
(2004年): 0.00237

\* GMO(遺伝子組み替え  
作物)による死者は出て  
いない。でも、なぜか忌避  
されている。

2006年7月



食添協

## 入浴のリスク

がん	250
自殺	24
交通事故	9
入浴中に水死	2.6
(65歳以上の高齢者では9.9)	
火事	1.7
自然災害	0.1
落雷	0.002

(人口10万人当たりの2004年の年間死亡者概数)  
中谷内一也「リスクのモノサシ」(2006年)

食添協

## BSEのリスク

がん	250
自殺	24
交通事故	9
火事	1.7
自然災害	0.1
落雷	0.002

**牛肉食によるCJD      ほとんど 0**

**(新変異型のCJDの罹患率    0.001~0.009)**

(人口10万人当たりの2004年の年間死亡者概数)

中谷内一也「リスクのモノサシ」(2006年)

食添協

## 食中毒のリスク

がん	250
自殺	24
交通事故	9
火事	1.7
<b>食中毒(1960年)</b>	<b>0.27</b>
自然災害	0.1
<b>食中毒(1980年)</b>	<b>0.017</b>
<b>食中毒(2000年)</b>	<b>0.004</b>
落雷	0.002

(人口10万人当たりの2004年の年間死亡者概数)

中谷内一也「リスクのモノサシ」(2006年)

食添協

## インフルエンザ“狂想曲”

- マスク着用(?)、水際作戦(?)
- 患者を出した学校(高校)に大量の抗議  
「我が子を学校に行かせられない」  
「学校の近所にあるため、  
商売に影響が出た」
- 学校の消毒(?)

食添協

## 食品・医療報道の事例(1)

- 化学物質(農薬、食品添加物)
  - … 化学物質のリスクをどのように伝えるか
- BSE牛…他の要素を混合してとらえていないか
- 環境ホルモン
  - … 専門家から適切な(時宜を得た)コメント  
あるいはアピールがあったか。  
メディア側に「不勉強」はなかったか
- ダイオキシン問題…いたずらに不安を煽っていないか

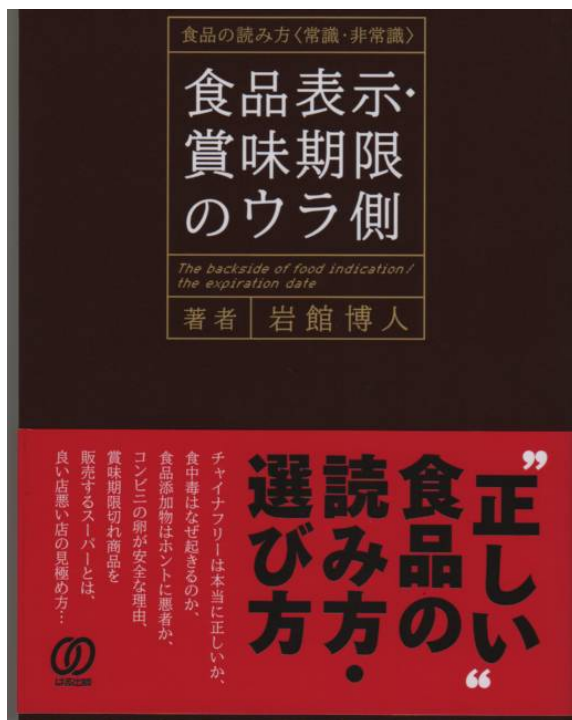
食添協

## 食品・医療報道の事例(2)

- (豚)インフルエンザ・・・科学情報を正確に伝えることは難しい
- 脳死・臓器移植  
・・・「頭」ではなく「腹(感情)」で記事を構成していないか
- 食品の安全性・・・不二家問題、伊藤ハム問題、中国産餃子・野菜  
→ 果たしてそうか？

食添協

43



2009年11月



2008年9月

食添協

## 科学・技術は十分に伝えられているか

- ・ 田中耕一さんノーベル賞受賞・・・業績内容の理解が不十分
  - 騒動(仕事・研究内容よりも人間に焦点?)
- ・ 科学・技術記事は難しいか?
- ・ 日本人の科学・技術知識は貧弱?
- ・ なぜ科学・技術では知識を1から言わなければならないのか?
  - (cf)ルールを知らなくてもスポーツ観戦は困らないし、許される。  
しかし、科学・技術は?
- ・ 補完する仕組みがあるのだろうか・・・週刊誌、雑誌、書籍、映像媒体、ネットの役割
  - 新聞の比重が高すぎる?

食添協

45

## 科学的に伝えたい。しかし、現実は・・・

- ・ 電磁波・・・電磁波の影響、電磁波グッズetc
- ・ マイナスイオン ... 本当に効果があるか?
  - (家電メーカーの技術者の苦悩?)
- ・ ポリフェノール ... ポリフェノール化合物の一面だけ強調
- ・ 健康食品・サプリメント、トクホ(特定保健用食品) ... ?
- ・ 血液型性格診断(?) ... ?
- ・ 新型インフルエンザ ... はたして言われるほどの「恐怖」があるのか

これらをどう伝えてゆくか? 伝え方は適切か

「風評被害」をどのようにして防ぐか?

→ これに果たすメディアの役割は?

科学者、技術者の役割とともに、

→ メディアの姿勢も問われている

食添協

46

## 対立を生む要因

- 不適切・不十分な情報提供・・・行政、企業
- 根拠のない一般人蔑視の姿勢・・・行政、企業
- 科学的知見や知識の不足・・・市民、(メディア)
- リスクに対する認知の不足・・・市民、(メディア)
- 「ゼロリスク」の要求・・・市民、(メディア)
- 不正確・不十分な報道・・・メディア
- 情報選択の恣意性・・・メディア、識者
- 主観的な発言・・・学者・識者

食添協

47

## 専門家と非専門家間の意識の差

### ● 専門家

- 対象を厳密に捉える・・・客観的
  - 科学的知見・データに沿っているか
  - (事象が生じた)原因は多様であると考え
  - 科学的な定義をはっきりさせる
- (非専門家から見て)わかりにくい言葉を使う傾向がある
- 楽観的なバイアスをかけがち
- 全体のバランスを考える → 確率 (例) ワクチン接種の効果
- 領域が異なると(判断基準などは)素人と変わらない

### ● 非専門家

- 自分や身近な人の利便を優先する傾向がある
- 自分にとって心地よい情報を優先する傾向がある
  - ・・・主観的。「気に入らない」情報は無視しがち
- 悲観的なバイアスをかけがち
- 判断基準には個人差がある
- 「白か黒」かの2値で判断する傾向がある

→ どちらの立場に立って報道するか？

食添協

48



# ブーム

- ・ 「**にわか**に景気づいたり**突然**人気が出たり、ある事柄が**急に**盛んになったりすること」(新明解国語辞典)
- ・ 社会現象が先なのかブームが先なのか
  - 少数の人の嗜好(興味、関心)が先のものが多い
  - メディアが仕掛ける(?)
    - …ここで言うメディア(マスコミ)とは何だろう

## ブームの例

ベビーブーム、アニメブーム、お笑いブーム、健康ブーム(レトロブーム)、脳科学(脳トレ)ブーム、焼酎(日本酒)ブーム、ネットブーム、萌えブーム(?), 韓流ブーム、科学技術ブーム(?)...

食添協

49

## いまは科学・技術ブーム?

- ・ “科学・技術ブーム”は昔からあった
  - 原子力開発、宇宙開発、南極観測、ノーベル賞、  
脳死・臓器移植、生命科学...
- ・ いまの科学・技術ブームの特徴
  1. 報道される量が多い → 報道する対象が増えている
  2. 主張が多様化している(一部の事?)
  3. 政治を動かしている(→昔から少なからずあった?)
    - 脳死・臓器移植問題、生命倫理問題、  
地球環境保全問題...
  4. 作られたブームである(?)
    - 「科学技術創造立国」のかけ声

食添協

50

## 報道はブームを煽ったか？

- ・ 確かにそうした面はある
  - 社会(人々)の関心を呼ぶ
  - 問題を掘り起こす
  - 人々の不安を煽る
    - (一部の)メディアの特性
  - ブームに火をつけ読者を増やす
    - (売り上げを伸ばす?)
  - 一過性でもよい

## 忘れられない言葉

「今、社会の関心を呼んでいることだから、  
書けば(記事が)大きくなる」

→ 記者がこれに乗っていることがしばしばある。世間(社会)の関心が高いのだなあとも思う。また、自分の記事は大きくしたいという思いもある。

しかし、内心、反発もしている。自分は、「ブームだからといって書いているのではない……」と

## 報道に望むこと(1) --- 早稲田大学社会人講座

- ・ 何が正しいのかしっかりした報道がほしい  
マスメディアで誤った報道、偏った思想を流すとそれに誘導されがち
- ・ 不安感や危険性をあおる報道が多い  
→ ネガティブなニュースを大きく取り上げる傾向があるので、リスクも実際よりも大きく書かれがちである
- ・ 絵になることを伝えることが多い？
- ・ 疑いが晴れたといった記事は扱いが小さい

## 報道に望むこと(2) --- 早稲田大学社会人講座

- ・ 読んでも(見ても)よくわからない報道が多い  
(例)新型インフルエンザ
- ・ (産地)偽装が食の安全を脅かす、という論調が多いのではないか  
→ 経済詐欺なのにリスクがあるかのように報道している？
- ・ マスメディアの種類によって報道に仕方は様々である
- ・ センセーショナルではなく実情を知らせてほしい  
大げさ、情に訴える、タイトルで耳目を引くことが多い。  
「あってはならないこと」という意識を消費者に植え付けている？

## 報道に望むこと(3) -- 早稲田大学社会人講座

- ・ 誤報道に意見を言う組織が必要  
→ 例: BSE問題など
- ・ 一般人にもわかる(わかりやすく)伝える工夫もいる
- ・ あらかじめシナリオを作っている  
「人工物」は危険、天然物は安全(?)  
例: 1. 放射線は必要悪である  
2. 人工的に作られる放射線は健康に有害である  
3. 自然(天然)の放射線は有益である  
4. 健康診断などに利用する放射線は有害である

食添協

## 報道に望むこと(4) -- 早稲田大学社会人講座

- ・ リスクに関する報道を一方向的に流しているだけ。  
→ 視聴者(読者)の理解力を考慮すべき
- ・ 正確さよりも、エンターテインメント性が強くでている。コメンテーターに頼りがち(代弁させている)。
- ・ マスメディアがとりあげる基準がはっきりしない。
  
- ・ 報道の一定の効果はあった。一般への報道があったからここまで防げた(プラス評価)。

食添協

## 市民に望むこと(1)

- ・ リスクに対して過剰反応をしない。パニックにならず冷静な対応を
- ・ 感情的ではなく科学的に判断する
- ・ (企業性悪説に基づかずに)中立な提言をする
- ・ 市民団体＝本当の市民代表になる努力をする
- ・ 「勉強せよ」「潔癖すぎる」
- ・ 知識不足による主観的な発言などを避ける
- ・ 社会の一員としての自覚をもつ
- ・ リスク情報を継続して収集する

## 市民に望むこと(2)

- 「おもいっきりあるある症候群」に毒されないでほしい  
→「報道」性の強い記事(番組)なのか「エンターテイメント」性の強い記事(番組)なのか。誤った情報を見分ける知恵は？
- 「食品」と「薬品」の差を知ってほしい  
食品・・・不特定多数の人が毎日摂るもの。  
体にとって「よい」ものであるのは当然。有害なものであってはならない。素人が扱う。  
薬品・・・病気やけがというリスクを負った人がとるもの。  
体にとって有害な事象(副作用)は避けられない。  
玄人(プロ＝医師や薬剤師)が扱う。

## 信頼できるメッセージとは(1)

- 内容が客観的事実に基づいているとの検証の資料が発表されること
- 信頼に足る情報源からのものである
- 情報の受け手の利益を考えての報道である
- 近視眼的ではなく、長期的展望に立った報道である
- どこまでが事実であり、どこからがオピニオンであるかを明確にする

食添協

## 信頼できるメッセージとは(2)

- わかりやすく、正確で、論理性がある
- 情報に発信者と受信者との十分なコミュニケーション(=信頼性の醸成)が大切
- 正確さ、客観性、わかりやすさ(表現など)、開放性(事実を隠さない)、公平性(バランスがとれているか)が確保されている
- ニュースの場ではタレントの意見を求めない
- メディアにおいては、結論が先にある後に話を作らないようにすべき

食添協

## 信頼できるメッセージとは(3)

- 何を伝えたいのか明確にする
- 科学的根拠に基づいている。いくつかの視点から捉えた多面的なものである。世の中の常識と一致している。客観性がある――などが信頼性があることの要素
- 両論があるときはそれを併記する。メリットだけではなくデメリットも記載する
- 感情や思い込みを排除する

食添協

## リスクコミュニケーションに必要なこと

- プロセスが透明である
  - 分析の成果(報告書、勧告など)が入手できる
  - 情報に科学的な根拠がある
  - 受け手を向いた情報の提供である
  - 受け手(消費者)の要望に応えた内容の情報である
- 「このリスクは私や家族の健康に影響するのか？」  
「自分でこのリスクを減らす方法はあるのか？」

## リスクコミュニケーション にあたってのつべき意識

- 「見つからなければ大丈夫」  
と思っていないか？
- 第三者として見たときどう思うか？
- 家族に胸を張って話せるか？  
(そのことを家族・自分の子供にすすめられるか)

